

各位

2022年05月24日

アクセスグループ

福岡市と協力連携し、小学生向けの防災情報紙「もしも新聞」を新規発行

～自然災害への地域防災意識を啓発、行政機関の情報発信に貢献～

株式会社アクセスグループ・ホールディングス（東証スタンダード・7042）の事業子会社で、プロモーション支援事業を開拓する株式会社アクセスプログレス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 山口幸喜、以下「当社」）は、このたび福岡市の協力のもと、防災情報紙「もしも新聞」を新規発行。福岡市の教育委員会を通じて、福岡市内の市立小学校に通う4・5・6年生全員に配布するほか、福岡市役所及び区役所でも配布いたします。

「もしも新聞」は、地域の企業等のご賛同・ご協力により発行し、防災・危機管理意識の向上と学習をサポートする新聞です。当社では自治体との連携による防災情報媒体の提案を進めており、今回新規発行となる福岡市のほか、大阪府、和歌山県、広島県、名古屋市、横浜市でも発行実績があります。各自治体での継続発行と、他の自治体への提案により、地域防災意識の啓発と行政機関の情報発信に貢献してまいります。



【企画・発行の目的】

近年、日本の各地域で地震、台風、大雨などの自然災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、様々な生活上のリスクが生じており、地域の特性に応じた、日常的な防災、危機管理意識の向上と備えが重要です。「もしも新聞」は、特に子どもの頃から意識を高めていくことが、家庭での話し合い、備えに繋がることから、防災についての体系的な理解と学習を促進することを目的に、企画発行したものです。

【福岡市「もしも新聞」の概要】

- ・福岡市の協力、当社が発行元となって、企画・発行します。
- ・地域の企業等から防災に関する広告の出稿を募集し、その広告費を原資に発行します。
- ・福岡市内の市立小学校に通う4・5・6年生に直接配布します。また、福岡市役所及び区役所でも配布いたします。
- ・今回は、洪水・高潮・土砂災害・台風・地震・新型コロナウイルスに対しての知識や行動対処法、災害時の情報入手方法の手引きなど、小学生の視点でわかりやすく理解いただけるよう編集しています。

□名 称：もしも新聞

□配布部数：44,520部

□配布対象：福岡市内の市立小学校に通う4・5・6年生および福岡市役所及び区役所にて配布

□発 行 日：令和4年4月13日

□紙面体裁：タブロイド判、カラー12ページ

【会社概要】

株式会社アクセスプログレス

代 表 者：代表取締役社長 山口幸喜

設 立：1982年10月

所 在 地：東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスター24階

資 本 金：80,000千円

事業内容：プロモーション支援事業（販促プロモーション、業務アウトソーシング、防災・衛生対策等）

本件・内容についてのお問い合わせ

株式会社アクセスプログレス

担当：山崎

Tel：03-5774-2310（代） Mail：koho@access-t.co.jp HP：<https://www.access-t.co.jp/pg/>

報道関係者のお問い合わせ先

株式会社アクセスグループ・ホールディングス

広報担当：影山・田中

Tel：03-5413-3001（代） Mail：koho@access-t.co.jp HP：<https://www.access-t.co.jp/>

（〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館15階）